

東城新聞

忠州旅行記(四)

三十日 忠州 晴

忠州から清州迄の徒歩旅行の苦しさは、
半日は急ぎに馬に乗る決心して、馬を俵
ひに行つたが昨日大貨物の輸送の爲めに
馬の蹄の待つて居る旅人旅行は、
いので、又も徒歩旅行をせよとならぬ
になつた。丁度八月の一日夜もまだ明けぬ
が、忠州の宿屋に居る旅人の旅を
が、忠州の宿屋に居る旅人の旅を
が、忠州の宿屋に居る旅人の旅を

忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を

忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を

忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を

忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を

忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を
忠州の宿屋に居る旅人の旅を



龍山製薬局
電話 三三九番
中島醫院
電話 三七八番

京成銀行
資本金三百萬圓
爲替取組先
東京、大阪、神戶、横濱、名古屋、京都、神戸、福岡、仙台、青森、大津、金沢、新潟、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、奈良、和歌山、徳島、高松、香川、岡山、広島、山口、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

工學士佐々木正
療養病氣の處
段々死に候間此
告仕候也
明治四十四年九月二日

尺宅及教授
南山人倶楽部
稻本正音

辻屋
本店電話 二四八
支店電話 三六六

洋酒、ブランド、ウヰスキー、菓子、果物、卸小賣

-206-

●廣告料
●去歲招字十九號一行一則五十五字
●廣告料五號字十九號一行一則五十五字
●發行處順興人
●印
●秋山久忠馬
●發行所京城新順
●電話六六三